

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

## RSウイルス感染症に注意が必要です！！



RSウイルス感染症が流行しています。例年9月ごろから検出が始まり徐々に流行していく傾向にありますが、今年は7月から乳幼児を中心に感染が確認されています。ゼーゼーがひどかったり、肺炎で入院されている患者様もいらっしゃいます。今年の流行は早くから始まる可能性があります。注意が必要です。

**特に注意が必要なのは3カ月未満の乳児期早期のお子様です。**RSウイルス感染症にかかると重症化しやすいため、かからないように周りのご家族が注意しなければなりません。

赤ちゃんがRSウイルス感染症にかかる原因は、きょうだいや保護者からの接触感染です。

○咳があればマスクをする

○赤ちゃんに触れる前には必ず手洗い、うがいをする

家族みんなで赤ちゃんを守ってあげましょう!!



## RSウイルス感染症について

### 主な症状は？

鼻汁や鼻づまりから始まり、次第に湿っぽい咳や喘鳴が増えてきます。特に乳児は要注意で、肺炎や気管支炎になることがよくあります。

### 乳児で感染したら気を付けることは？すぐ受診したほうがいい？

まずは鼻汁を吸引して、呼吸を楽にしましょう。赤ちゃんは舌が大きいので口呼吸はうまくありません。鼻が詰まるとすぐに呼吸がしづらくなります。喘鳴が聴かれ呼吸が速くなってきたり、哺乳力が落ちてきたら、迷わず受診を考えましょう。うまく眠られなくなってきたときも早めに受診してください。

### 治療する薬は？

RSウイルスに対する特効薬はありません。鼻汁や痰の吸引や、痰を柔らかくする薬を吸入するなどの対症療法が主体になります。乳児で呼吸障害が強い場合は入院加療が必要になることもまれではありません。



## 咳込んで眠れないときのおうちでのケア

- 咳き込んでいる時は、衣服をゆるめ乳幼児は縦抱きにして背中をさすってあげてください。
- 水分をすこしづつ飲ませてあげると痰がきれいやすく咳も治まりやすくなります。積極的に水分補給を心がけましょう
- 寝ている時に咳込みや呼吸がつからそうな時は、上半身をおこしてあげるとよいでしょう。クッションや枕などで調節してあげましょう。

★呼吸困難で顔色が悪く、ゼーゼーしたり肩で息をしているときは大至急病院へおこし下さい！！

### ☆陥没呼吸（かんぼつこきゅう）

息を吸うときにのどの下（胸骨の上）や鎖骨の上がつ引っ込む（＝陥没する）ようになる状態です。喘息発作のときによく見られる症状ですが、息をするのもしんどい状態です。お子様の胸のあたりを見ると分かりやすいです。このような症状が見られたらすぐに医療機関を受診しましょう。

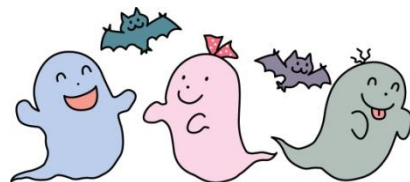
## 当院の流行状況

ヘルパンギーナが多数報告されています。現在一番報告数が多く注意が必要です。

RSウイルスが検出されています。現在乳幼児を中心に多数検出されています。

おたふくかぜがまだ多く報告されています。

マイコプラズマ感染症が依然として多く検出されています。





## 8月24日に病棟行事“地蔵盆”を行います。

対象は入院中の患者様です。2階プレイルームでお話し会、3階プレイルームで出店めぐりができます。

出店の内容は

①ボール的当て屋さん

②ヨーヨー釣り屋さん

③輪投げ屋さん

④ゲームコーナー

どっちだゲームでスタッフに勝てれば商品ゲット！

⑤はっぴで記念写真屋さん



### 当院を受診される患者保護者様へ

- 駐輪場が新しくできました。病院北側にあります。自転車で来院の際はご利用ください。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料にご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 病院本館東側に車寄せができました。患者様の乗り降ろしや、入院時の荷物の運搬やお迎えなどにご利用ください。なお、長時間の駐車はご遠慮ください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力宜しくお願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしくお願い致します。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。